

【全体概要】

リンドウは、近年、県内市場への入荷量が大きく減少しており、需要が満たされていない。そのため新産地の育成および既存産地の活性化と安定生産が求められている。しかし、これまで栽培されていた在来系統は、形質の劣化やばらつきが大きかった。そこで、新品種を導入し、福岡県に適応できる優良品種を選定すると同時に、安定生産技術を確認し、県内各地域での生産振興を図る。

新品種・新技術等の概要

○(有)スカイブルー・セトのリンドウ品種

花色は、濃青系、白系、複色系の3色があり、品種により6月下旬から11月上旬まで出荷できる。

○福岡県に適応できる優良品種の選定と安定生産技術の確立。

各品種の県内4カ所での開花期、切り花形質等を調査。また、定植時期(2月、4月)と生産性等を比較検討。



導入品種の開花状況



実需者との意見交換会

主な取組内容

【実証ほ設置】(4普及センター、4ほ場、各18品種)

【事業検討会・設計・成績検討会】(7月、11月)

実証ほの設計、成績を検討。

【プロジェクト会議、現地検討会】(7月～11月、6回)

実証ほ場の実施状況の確認および現地検討会を開催。

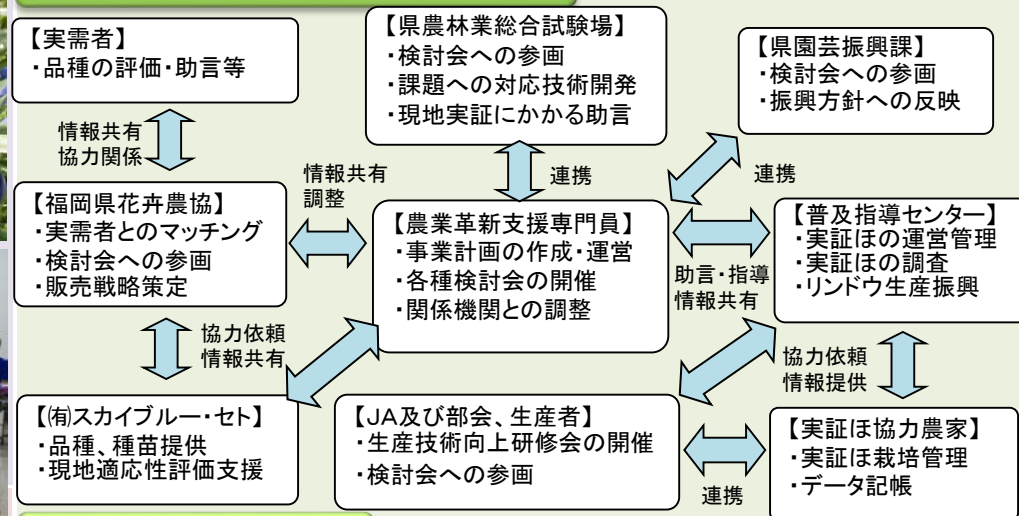
【実需者との意見交換会】(8月、2回)

福岡県花卉農協、仲卸、小売りの各実需者との意見交換会を実施。

【先進地調査】(8月)

農業革新支援専門員が中心となり、種苗供給元である長野県および先進地である山口県、宮崎県を調査。

コンソーシアム候補の体制図



実績と今後の展開

【実績】

- ①実証試験により、需要期である7月下旬から8月中旬に収穫でき、切り花形質の優れる2品種を選定。
- ②福岡県における安定生産技術確立のため栽培基準を作成。
- ③導入品種の栽培面積は0a(H28)から15a(H30)に拡大。

【今後の展開】

- ①実証圃により切り花形質等の差が大きかったことから、全県的に栽培技術を向上させる取組が必要。
- ②生産拡大及び品質向上のための遮光処理試験等を継続して実施。